

2023年度 総務委員会 アクションプラン

委員長 小林 要

委員会基本方針： ①絆を深める組織運営と情報発信

(委員会設置背景と目的)				
<p>■ (設置背景) 人を惹きつける魅力ある組織、それは時代ごとの課題を汲みとり、その時々求められる活動や運動を展開していく組織です。私たち能代青年会議所は、地域課題の解決を図り、地域の発展と共に魅力ある組織として成長していく必要があります。</p> <p>■ (設置目的) 効率的な組織運営と情報発信を通じて、メンバーの継続的な活動を下支えすると共に、強靱な絆の醸成を促し、安定的な運営基盤を築くことを目的とします。</p>				
(事業計画全体概要)				
	事業計画名	年月	概算予算	公益/共益
1.	5月定例会(地域の防災意識を向上させる事業)	2023年 5月	70,000円	公益
2.	11月定例会(会員交流事業)	2023年 11月	10,000円	共益
3.	松原発行(理事長新年度挨拶・事業紹介・卒業生及び新入会員の紹介)	2024年 1月	66,000円	共益
0.	2023年次資料・会員名簿作成	2022年 11～12月	0円	共益
0.	選挙管理委員会設置	2023年 6月	0円	共益
0.	理事長監事選出委員会選出委員選挙	2023年 7月	0円	共益
0.	5%理事選挙	2023年 8月	0円	共益
0.	SNSの発信	通年	0円	共益
0.	ホームページ及びデータ記録管理	通年	0円	共益
0.	総会並びに定例会セレモニー運営	通年	0円	共益
0.	会員拡大運動	通年	0円	共益
(事業内容)				
<p>■ 5月定例会事業(防災意識を向上させる対外事業)</p> <p>職務分掌： 1. 防災意識を向上させる対外事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 日本海中部地震の発生から40年の月日が流れ、当時の災害の記憶も薄れてきています。様々な災害が近年多発しているなかで、安心して住み暮らすことができる地域を実現していくには今一度防災への意識を高めていく必要があります。</p> <p>2) 目的： 過去の災害を振り返り、災害について学び、一人ひとりの防災意識を向上させることを目的とします。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 5月</p> <p>4) 事業内容： ・防災に対する意識を向上させる事業を行います ・災害に対する知識と意識の向上を図ります</p>				
<p>■ 11月定例会事業(会員交流事業)</p> <p>職務分掌： 2. 会員交流事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 能代青年会議所は会員の減少傾向が続いている中で、組織が持続していくには、さらなる会員の積極的な活動を促す必要があります。</p> <p>2) 目的： 会員同士の結びつきを育み、一人ひとりが意欲的に活動し、持続可能な組織へと発展させることを目的とします。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 11月</p> <p>4) 事業内容： ・会員同士の結びつきを育む交流会を開催します</p>				

■ 2024年度 松原発行(事業紹介卒業生・新入会員の紹介)

職務分掌： 3. 2024年度 松原発行

- 1) 実施に至る背景： 私たちは地域に必要な存在であり続けるべく、地域に能代青年会議所の活動を伝え、地域とのより深い信頼関係を築いていく必要があります。
- 2) 目的： 内外に私たちの活動を伝え拡めることで、会員の拡大や支援の拡大につなげることを目的とします。
- 3) 実施期間： 2024年 1月
- 4) 事業内容： ・原稿内容を構成します
・印刷依頼を行います
・2024年度理事長挨拶
・2023年度事業活動報告
・2023年度卒業生紹介
・2023年度新入会員紹介
・賛助企業募集の案内文記載

2023年度 育成委員会 アクションプラン

委員長 畠山 優介

委員会基本方針： ②新たな時代を切り拓く次世代育成事業の実施

(委員会設置背景と目的)				
<p>■(設置背景) 能代山本地域は少子化、人口減少、労働力不足が進んでおります。人口が減り続ける状態で、地域を持続させるには、個人と集団のスキルの向上、質を高めることが必須です。中でもITリテラシーやグローバル教育といった、未来を切り拓く現代的なスキルがなければなりません。</p> <p>■(設置目的) 学校教育や家庭教育で学ぶには、環境の整備や投資が難しい分野や、触れる機会の少ない分野の知識や体験を提供し、子ども自身の価値観を広げ、新たな価値を創造する次世代を育成することを目的とします。</p>				
(事業計画全体概要)				
	事業計画名	年月	概算予算	公益/共益
1.	3月定例会 (IT教育を推進する青少年育成事業)	2023年 3月	25,000円	公益
2.	6月定例会 (グローバル教育を推進する事業)	2023年 6月	25,000円	公益
3.	10月定例会 (愛郷心を育む青少年育成事業)	2024年 10月	100,000円	公益
0.	しののめ夏祭りへの協力対応	2023年 7月	0円	公益
0.	のしろこどもまつりへの協力対応	2023年 5月	0円	公益
0.	クリーンアップへの協力対応	2023年 4月	0円	公益
0.	会員拡大運動	通年	0円	共益
(事業内容)				
<p>■ 3月定例会 (ITリテラシーを学ぶ体験学習)</p> <p>職務分掌： 1. IT教育を推進する青少年育成事業</p> <p>1) 実施に至る背景： パソコンやスマートフォンはもちろんのこと、IoTモノのIT化が進み、ありとあらゆるものがインターネットに紐づいたことで、ネット犯罪・トラブルの被害にあう、または加害者になってしまう危険性が高まっています。日進月歩で進化し続けるIT分野においては、知識がすぐに陳腐化してしまうため、常に学び続ける環境が必要です。</p> <p>2) 目的： 情報機器を排して生活するのが難しい社会において、危険だからと可能性を封じてしまうのではなく、ITリテラシーを得ることで、その危険性を減らし、情報機器の利便性を損なうことなく、情報機器をさらに活用できる人材、それを活用して自ら新たな価値を創造できる人材を育成します。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 3月</p> <p>4) 事業内容： ・ITリテラシーを学ぶ体験型学習</p>				
<p>■ 6月定例会 (地域の文化を学び、海外との繋がりを学ぶ学習)</p> <p>職務分掌： 3. グローバル教育を推進する事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 能代山本地域は少子化、人口減少、労働力不足が進んでいます。内需拡大の他、外需施策も行っていく必要があります。従来の国際化とは欧米の先進性を取り入れることでしたが、現代のグローバリズムとは国と国、ローカル同士の繋がりがです。これから能代山本地域を担う人材には、英語を学ぶ、地理歴史を学ぶ、外国に行く、といった単発的なものだけではなく、諸外国、他地域との繋がりとこの概念で捉える教育が必要です。</p> <p>2) 目的： 自分の生まれ育った地域の魅力を見つめ直し、地域と世界との繋がりを学び、新たな世界との繋がりを創造できる人材を育成します。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 6月</p> <p>4) 事業内容： ・諸外国についての知識を得る学習 ・自分達の文化についてを学ぶ学習 ・海外と地域を繋ぐ学習</p>				

■ 10月定例会 (地域を知り、地域の魅力を発信する体験型学習)

職務分掌： 2. 愛郷心を育む青少年育成事業

1) 実施に至る背景： 秋田は消滅可能性都市と言われるほど少子高齢化が進んでおり、その対策として企業や移住者の誘致、Uターン補助などの施策が行われているところですが、それは日本全国どこの地方でも共通の課題であり、限られたパイの取り合いです。その中で、他の地方にはない強みとなる絶対唯一の優位性があります。それはこの能代山本地域で生まれ育ったという事実であり、それが愛郷心です。この優位性を養うことが地方の持続に繋がります。

2) 目的： 自分の生まれ育った地域の魅力を見つめ直し、地域に愛着を持ち、地域に貢献できる人材を育成します。

3) 実施期間： 2023年 10月

4) 事業内容： ・地域の観光資源を活用した体験型学習

2023年度 拡大委員会 アクションプラン

委員長 小嶋 元

委員会基本方針： ③未来へ紡ぐ会員拡大の実施

(委員会設置背景と目的)				
<p>■(設置背景) 能代青年会議所の会員数は年々減少しており存続の危機にあります。能代青年会議所が消滅すると、青年経済人が成長し価値を高める場が少なくなります。さらに、問題に対する根本的な解決策を講じる人材が減り地域をより良くすることが困難になります。我々とともに運動できる仲間を増やし成長の場を掴み取る学び舎を持續させていく必要があります。</p> <p>■(設置目的) 会員の一人ひとりが会員の減少に強い当事者意識をもって、会員拡大運動を行い、多くの会員で地域を牽引することを目的とします。</p>				
(事業計画全体概要)				
	事業計画名	年月	概算予算	公益/共益
1.	会員拡大 2023	2023年 1月	0円	共益
2.	2月定例会(理念共感型拡大を学ぶ事業)	2023年 2月	5,000円	共益
3.	7月定例会(対外交流事業)	2024年 7月	10,000円	共益
0.	黒松並木剪定	2023年 6月10日	0円	公益
0.	天空の不夜城協議会への協力対応	2023年 8月	0円	公益
0.	会員拡大運動	通年	0円	共益
(事業内容)				
<p>■会員拡大 2023</p> <p>職務分掌： 1. 会員拡大会議の設置・運営</p> <p>1) 実施に至る背景： 能代青年会議所の会員は年々減少の一途をたどっており、存続の危機にさらされています。私たちが志同じくする仲間を一人でも多く募り、組織をより強靱なものにする必要があります。</p> <p>2) 目的： 一人ひとりが会員拡大に積極的に取り組む気概をもち、能代青年会議所をさらに地域を牽引する組織へと強化することを目的とします。</p> <p>3) 実施期間： 2023年1月</p> <p>4) 事業内容： ・2023年定時総会で方針を説明します ・候補者リストを作成します</p>				
<p>■2月定例会(理念共感型拡大を学ぶ事業)</p> <p>職務分掌： 3. 理念共感型拡大を学ぶ事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 会員の中でも在籍年数の長い会員もいますが短い会員も多くいます。JCとは何のためにあるか、JCの理念とは何なのかと深く理解できていない会員も多いこともありJC活動に取り組む姿勢に対しても差ができてしまいます。全会員がJCの理念を理解し、共有することが必要です。</p> <p>2) 目的： 会員一人ひとりがJCの理念を理解、共有し、一致団結するとともに積極的な拡大運動を行うことを目的とします。</p> <p>3) 実施期間： 2023年2月</p> <p>4) 事業内容： ・JCの理念に共感、共有し、積極的な会員拡大に繋がる事業を開催いたします</p>				

■7月定例会(対外交流事業)

職務分掌： 2. 対外交流事業

- 1) 実施に至る背景： 能代青年会議所では様々な事業に取り組んでおりますが、能代山本地域には我々の他にも地域の発展に尽力してる方や団体があります。我々の価値だけでなく他の運動も参考にし、従来とは違った視点でJC運動をより良いものにしていく必要があります。
- 2) 目的： 会員だけでなく、地域の中で我々の他にどのような方や団体がどのような仕事や活動に従事しているかを知り、そこで受けたインスピレーションを今後のJC運動に繋げることを目的とします。
- 3) 実施期間： 2023年7月
- 4) 事業内容： ・能代山本地域の青年経済人、他団体を集めての事業を開催いたします
・今まであまり深く関わることのなかった人たちの出会いを通じてインスピレーションを受けます

2023年度 研修委員会 アクションプラン

委員長 平川 真実

委員会基本方針： ④地域で輝くリーダーの育成

（委員会設置背景と目的）			
<p>■（設置背景）近年の目まぐるしく変化する社会ではダイバーシティの浸透によって全体に重きを置く集団主義的思考ではなく、個性や多様性を尊重する傾向が強まっています。この激動の時代、従来の同調性の強い組織のままでは社会の意識変化に対応できず、地域で輝くリーダーを輩出することが困難です。多様性を容認した柔軟で包括的なマネジメントを行い、個性を尊重する卓越したリーダーを輩出する組織へと成長する必要があります。</p> <p>■（設置目的）人と人とが違いを認め合い、異なる視点の発想を相乗させると共に、イノベーションが生まれやすいダイバーシティを尊重する組織風土を醸成し、地域を牽引するリーダーを育成することを目的とします。</p>			
（事業計画全体概要）			
	事業計画名	年月	概算予算 公益/共益
1.	ダイバーシティマネジメントを学ぶ事業	2023年 4月	60,000円 共益
2.	全会員対象研修事業	2023年 8月	40,000円 共益
3.	若手会員対象事業	2023年 11月	10,000円 共益
0.	職業講話への協力対応	随時	0円 公益
0.	会員拡大運動	通年	0円 共益
（事業内容）			
<p>■ 4月定例会 みんなが生きる、あなたとわたし～多様性の時代へ～</p> <p>職務分掌： 1. ダイバーシティマネジメントを学ぶ事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 企業のグローバル化や労働人口の減少、さらには、雇用意識や価値観の変化の影響で、ダイバーシティマネジメントが新しい組織のあり方として注目を集めています。各個人の多様なバックグラウンドを受容し、それぞれの能力を最大限活用できる組織変革を自発的かつ長期的に行う必要があります。</p> <p>2) 目的： 多様性に潜む課題とその対応策を探求し、様々な属性や背景をもつ人財を受け入れると共に相互理解を深め奔走する組織を目指します。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 4月</p> <p>4) 事業内容： ・ダイバーシティマネジメントの理解を深めます ・多様な人財の活躍推進に向けた取り組みを探求します ・思考の柔軟性を高めます</p>			
<p>■ 8月定例会 心の在り方～感謝し感謝される～</p> <p>職務分掌： 2. 全会員対象研修事業</p> <p>1) 実施に至る背景： 人は心にゆとりがなくなると、どうしても私がという思いに駆られてしまい、思いやりや感謝をするということを忘却してしまいます。近年では、感謝の表明、感謝を受けることが対人関係の維持、改善、向社会的行動の促進といった効果をもつことが示されつつあります。そのため、異質な他者が共に考え、行動し、互いに理解し合う必要がある環境では、感謝を相互に受ける機会の充実が、良好な対人関係構築の促進につながります。</p> <p>2) 目的： 感謝を表現する最善の方法や、感謝の意を示すことで受ける恩恵を再認識し、豊かな人生を歩むためのヒントを得て、どんな時でも他人に感謝できる人間へ成長することを目的とします。</p> <p>3) 実施期間： 2023年 8月</p> <p>4) 事業内容： ・感謝が個人や社会に与える影響を再認識します ・感謝する力を高める具体的な方法を模索します ・自らを見つめ直すチャンスとして捉え、自己分析の質を向上させます</p>			

■ダイバーシティの実践～大人の社会科見学～

職務分掌： 3. 若手会員対象事業

- 1) 実施に至る背景： 青年会議所に所属するきっかけは様々です。若手会員はそれぞれ、種々雑多な思いを抱えながら日々の活動で鍛錬していることと思います。何のために活動するのか、このままでいいのだろうか、と悩みや不安を抱えながらも、視野を広げ、主体性を発揮していく必要があります。
- 2) 目的： 多角的な視点で物事を捉え、考えるとともに、自分の価値観を大事にしながら、望む未来に向けて行動を選択することができる契機とします。
- 3) 実施期間： 2023年 11月
- 4) 事業内容：
 ・経験したことのない業種を体験し、多様性を学びます
 ・相手がおかれている立場や状況に共感し、情報の共有を図ります
 ・新たな方法や情報を取り入れることの重要性を認識します
 ・知っているようで知らない世界を目の当たりにし、イノベーションを起こします